

福島区区政會議保健福祉・総務部会

福島区政の取組

経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題3 「次世代を元気に育むまちづくり」に関する主な取組

【子育て支援事業】(6 予算額:7,845千円 5 決算見込額:6,415千円)

«事業概要»

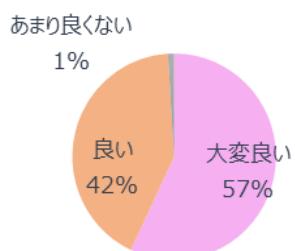
母親の健康回復への取組や親子が交流できる場の提供、様々な相談等に対応することにより、子育ての孤立感・疲労感・不安感を軽減させ、安心して子育てができるよう支援をするため、区独自として次の事業を実施している。

- ・産後の母親が自身の健康回復を後回しにせず、心身の体調管理ができる育児に向き合えるよう支援する「美ママ講座」を開催している。
- ・12か月までの赤ちゃんと保護者を対象に「赤ちゃん広場」を開催し、この時期にかかりやすい病気・離乳食などをテーマにした講話や、赤ちゃんと楽しめる手遊び・歌などの紹介、交流、相談、子育て支援施設等の情報発信を行っている。



美ママ講座

R5 美ママ講座 満足度



R5 赤ちゃん広場 満足度



«実績»

- ・美ママ講座 (年4回 定員 各回35名)

R5 6月・9月・12月・3月 (4回実施) 70名参加

R6 6月実施 8名参加

- ・赤ちゃん広場 (年12回 定員 各回60組)

R5 4月～3月 (12回実施) 延べ472組参加

R6 4月～7月 (4回実施) 延べ123組参加

«課題»

- ・美ママ講座では定員に比べ参加者が少ない状況である。また赤ちゃんと一緒に体操する際、赤ちゃんが泣いたりすると体操に集中できない場合がある。
- ・赤ちゃん広場では、コロナ禍以降、距離を保って座るため、保護者同士の会話が弾みにくい。



赤ちゃん広場

«今後に向けて»

- ・美ママ講座では、3か月児健診等の場で事業の周知を行う。また体操に集中しやすくするよう令和6年度より保育ボランティアを配置する。
- ・赤ちゃん広場では、月齢の近い赤ちゃん同士が近くになるよう座る場所を指定したり、司会者が会話を促すなどして、保護者同士が交流しやすいよう工夫する。

経営課題ごとの事業進捗状況

経営課題4 「誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり」の主な取組

【福島お助けネットワーク事業】

(6 予算額：3,095千円 5 決算見込額：3,095千円)

«事業概要»

- 概ね65歳以上の高齢者や障がい者に対し、電球交換や買物代行等、公的サービスの対象にならないちょっとした困りごとを有償ボランティアのサポートにより解決するとともに、新たな地域活動の担い手を発掘する。

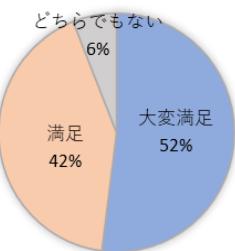


草むしり

«実績»

- 令和5年度 実件数450件 活動件数 延べ882件
利用者登録数 300人 サポーター登録数 62人 (令和6年3月末現在)
- 令和6年度 実件数165件 活動件数 延べ340件
利用者登録数324人 サポーター登録数65人 (令和6年7月末現在)
- 令和6年5月に利用者及びサポーターに対しアンケートを実施

利用者満足度（アンケート結果）



利用者の主な意見

- ◇とても助かっている。区の事業なので安心。
- ◇チケット制は不便。購入が面倒。
- ◇利用料が安価で助かる。
- ◇希望するサポーターの訪問回数を増やしたい。
- ◇サポーターによっては合わない方がいる。

サポーターの主な意見

- ◇チケット制は不便。活動後の換金が面倒。
- ◇活動後の書類の提出が面倒。
- ◇利用料金について夏場は高くしてほしい。
- ◇研修に参加する余裕がない。
- ◇認知度を上げるためもっとPRしてほしい。

«課題»

- アンケートの結果から、利用者の満足度は高いものの、チケット制などの事務手続き、研修実施方法、認知度向上など改善を図る必要がある。



買い物同行

«今後に向けて»

- 事務手続きの簡素化やデジタル化、PRの方法について検討を行う。
- サポーターの研修について参加しやすい方法を検討する。